

影日 そうですね、そういうことを知っている学生も少ないので、僕たちももっと耳を傾けなければならぬし、もっと行政も僕たちに伝える場をたくさん設けていただけたら、住民と学生の交流も図れるんじゃないかと思っています。

市長 学生のみなさんも、サークル活動やNPOのような活動団体をつくって、いろんな活動をどんどん進めていってほしいですね。私は市民と行政の協働ということをよく言っていますが、このような活動は、応援していきたいと思っていますので、自分たちの望むまちを一緒になってつくっていくという発想を持ってほしいと思います。

影日 はい、ありがとうございます。

子育て支援の充実で 魅力あるまちづくりへ

飯塚 私は、鳥取市内で活動をしている「ゆうゆうとつとり子育てネットワーク」という団体の役員をしておりま



いづかさゆり 飯塚説子さん
（「ゆうゆうとつとり子育てネットワーク」副代表）

子育てに追われるお母さんたちは、市町村合併は余りにも大きく漠然^{ぼぜん}としていて、雲をつかむような話だと感じていると思います。私たちは、十月の合併に向けて、他町村で活動しておられるサークルのみなさんにも、仲よくしまししょうねという思いで「ゆうゆう」へのお誘いをする準備をしているところで。どこのまちにも、元気なお母さんたちが、たくさんおられますから「ゆうゆう」という団体を通じて、出会いの場をつくり、みんなで活動することで、同じ市民になったんだなあという意識が実感としてわくようになると思います。

す。私たちも、自分たちの問題として考えていかなければいけないわけですから、一番身近なところからプラスの発想をもってやっていけたらと思っています。

市長 よくわかりました。今のサークル活動を通じて、その輪も広がっていくということだと思えますが、そのとおりだと思えます。子育ての中でネットワークの広がりを、期待しています。

子育てで、どういうサービスができるかと考えたときに、一つは保育料の問題ですが、鳥取市の保育料は、国府町や用瀬町などと比べてみると高いわけです。そこで合併協議会で議論し、合併を機に十七年度から下げることを決めました。子育ての条件もよくなったと思います。また、保育料の安い町村の人たちの場合、しばらく経過措置がありますから急激に上がることもありませんし、保育料については配慮した内容になっていると思います。

岩成 今、子育ての話がありました。全国で少子化が進

